

**3 年次**

# 専門基礎分野

## 1. 考え方

「専門基礎分野」は、基礎分野と共に、専門分野である看護学を学ぶ上で土台となる科目群である。ここでは、「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」「健康支援と社会保障制度」を学ぶ。人体の発生と構成、形態と機能について学び、人間の生命につながる営みである日常生活行動の理解を深める。人間を生活者として全人的にみつめ、看護の視点から病的状態に至る過程とその変化に注目し、回復を促進させるメカニズムを理解する。これらの学びによって、科学的根拠に基づいた看護実践に必要な臨床判断能力の基盤づくりをめざす。さらに、人々が生涯を通じて健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるよう、今日の保健・医療・福祉の動向と社会保障制度を学び、よりよく生きようとする社会的存在としての人間の理解を深める。これらの学びをとおして、看護を実践するために必要な専門知識を身につけることをねらいとする。

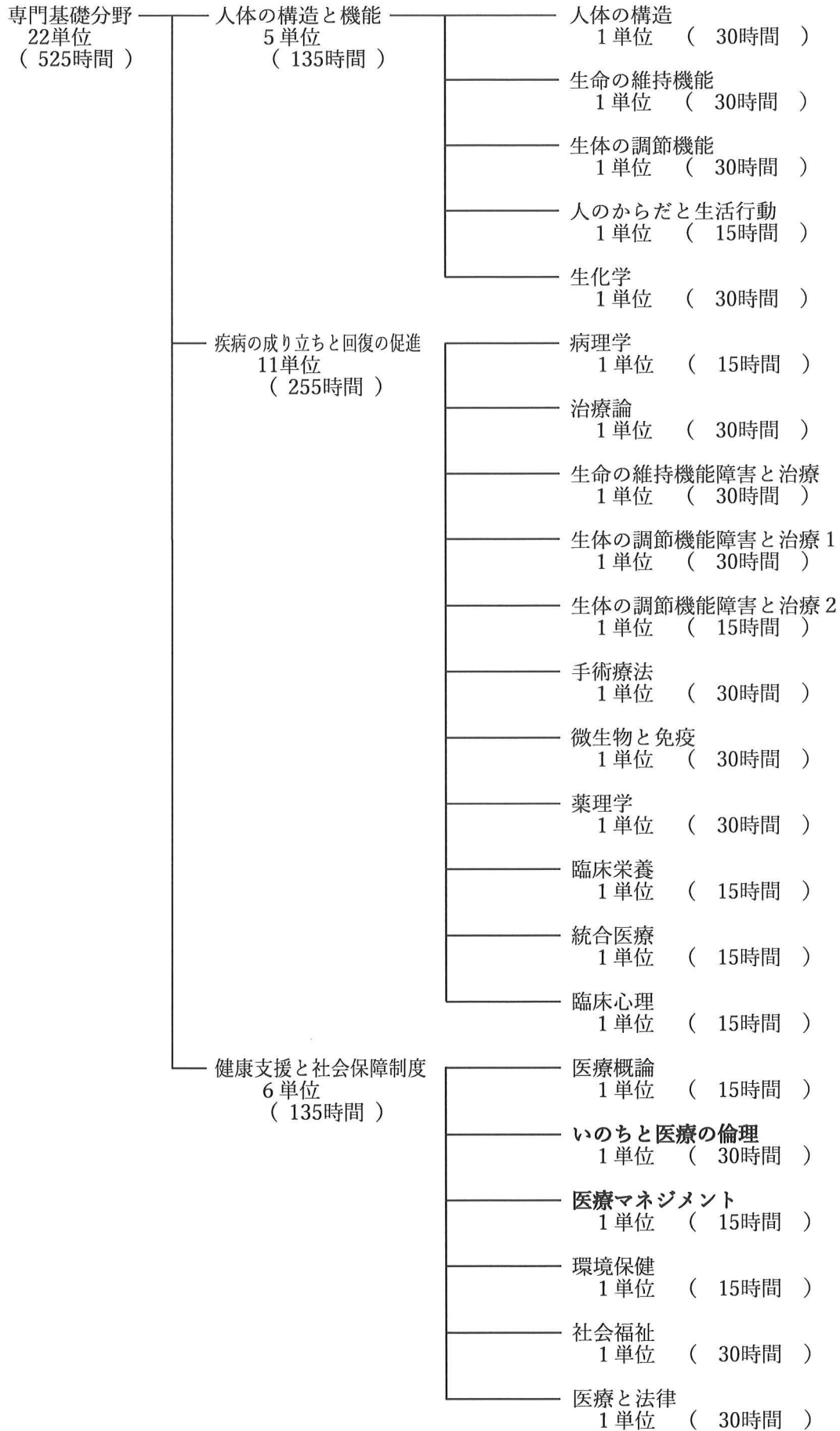
## 2. 目的

- 1) 日常生活行動を営むための人間の生命現象の基礎を理解する。
- 2) 生活との関連において、健康から疾病にいたる変化のプロセスと回復のメカニズムを理解する。
- 3) 人々の健康や障害の状態に応じた社会保障制度を理解する。

## 3. 目標

- 1) 人体の発生と形態、構造と生命の維持、調節機能を理解する。
- 2) 人体の構造と機能と生活行動を結びつけて系統的に理解する。
- 3) 生体を構成する物質と代謝の機能を理解する。
- 4) 病因と病変の特徴と、系統別疾患の病態、治療、検査について理解する。
- 5) 微生物の特徴と人体に及ぼす影響を理解する。
- 6) 薬物の特徴、作用機序、人体への影響を知り、臨床薬理の実際を理解する。
- 7) 各栄養素の栄養的意義と臨床栄養の実際を理解する。
- 8) 健康生活と薬、東洋医学や補完代替療法の基礎を理解する。
- 9) 人びとの心理的問題や心理療法、病む人の心への援助を理解する。
- 10) 医療を担う専門職者として、医療、健康、疾病の考え方、連携、協働の必要性を理解する。
- 11) 生命倫理の基礎を理解し、倫理に基づいて行動する力を身につける。
- 12) 環境保健に関する諸統計と保健活動、保健医療福祉の動向、制度を理解する。
- 13) 医療システムや関係する法規を知り、医療従事者として責務と責任を理解する。

#### 4. 専門基礎分野の構成



<b>いのちと医療の倫理</b>		開講時期	3年次後期	単位数	1	時間数	30
科目責任者		中尾 みさ子					
科目設定理由		医療現場における倫理的な諸問題について、多元的で柔軟な視点を獲得し、看護師として自らの考えをもち、倫理に基づいた援助を実践できる基礎的能力を身につけることをねらいとする。					
科目目標		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 倫理学の基本を理解し、現代医療における具体的な生命倫理の諸問題を理解する。</li> <li>2. 生命倫理、看護倫理の諸問題について、原則を踏まえて他者と話し合い、自ら考える経験ができる。</li> <li>3. 看護場面の倫理的な問題に気づくことができる感性＝倫理的感性を高め、対象の立場に立った倫理に基づく看護を実践する基礎的能力を身につける。</li> </ol>					
回数	担当講師	講義内容					
1	佐藤 もな	<b>【倫理・生命倫理】</b>					
2		1. 生命倫理とはなにか					
3		2. 生命倫理と看護職の責務					
4		3. 死の生命倫理					
5		4. 性と生殖の生命倫理 5. 先端医療と制度をめぐる生命倫理					
6	ジッリオ・エマヌエーレ・ダヴィデ	1. 「技術の時代」と専門的になっていく倫理 —テクノロジーの発展とこれまでの価値観の崩壊を中心に—					
7		2. 「いのち」を考える生命倫理 —生命倫理の基準と「自律」の限界から「Narrative Approach」と「三元論へ」—					
8		3. 現在の生殖医療の一側面 —人体性の「解放」から人体性の「資本化」と「商品化」へ—					
9		4. 看護の哲学的な本質 —「居心地（いごち）の良い看護」から「文化間看護（外国人治療）」へ					
10	濱口 明彦	<b>【臨床倫理】</b>					
11		1. 今、なぜ臨床倫理が必要か					
12		2. Jonsen の4分割表の活用 3. リビング・ウィルとアドバンス・ケア・プランニング					
13	中尾 みさ子 他	<b>【看護倫理】</b>					
14		1. 看護倫理とは何か					
14		2. 看護専門職の倫理					
15		3. 倫理的問題へのアプローチ 4. 事例分析 グループワーク 5. 発表・討論・まとめ					
<b>使用テキスト</b> 系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院 その他 資料を配布する。							
<b>参考図書</b> 藤村瀧子ほか：臨床実践のための看護倫理 倫理的意思決定へのアプローチ 医学書院							
<b>評価方法</b> 参加状況、レポート、試験で評価する。							
<b>担当講師の実務経験</b> 当該分野の博士課程を経て、多数の研究実績、講師の経験を有する。／東京慈恵会医科大学附属柏病院 医師							

医療マネジメント		開講時期	3年次後期	単位数	1	時間数	15
科目責任者	浅野 晃司／柳原 和代						
科目設定理由	わが国の医療・看護を取り巻く現状を理解し、看護職が知っておくべき病院マネジメントと医療経済についての基礎的な知識を身につけることをねらいとする。						
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>日本の医療システムおよび医療費の現状を知る。</li> <li>病院のマネジメントに必要な知識を習得する。</li> <li>医療制度・診療報酬制度・DPCについて基本的知識を習得する。</li> <li>看護実践の経済的側面を知り、看護組織の運営の実際について知る。</li> <li>千葉県の特徴を踏まえた医療施策および医療人材の確保対策を知る。</li> </ol>						
回数	担当講師	講義内容					
1	浅野 晃司	医療の現状と問題点					
2		東京慈恵会医科大学の理念・経営戦略・BSC（バランススコアカード） 医療の質評価					
3	石黒 礼生	コストマネジメント・医材物流管理・特材と消耗品・材料比率					
4	病院長	東京慈恵会医科大学附属柏病院の使命（実践例） 大学病院における経営戦略・病院のマネジメント 医療の質と経済性の向上 など					
5	業務課長	病院経営と財務管理 <ol style="list-style-type: none"> <li>医療制度のしくみ（医療保険、国民皆保険、医療費の動向）</li> <li>診療報酬制度とは・看護必要度と評価</li> <li>DPC（診断群分類）とは</li> <li>地域医療連携とは</li> </ol>					
6	事務部長	医療・福祉における財務諸表					
7	看護部長	病院経営と看護組織運営 看護と経済の関わり					
8	千葉県 医療整備課	千葉県の医療政策と看護職確保対策					
<b>使用テキスト</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 1 医療概論 医学書院 随時、資料を配布する							
<b>評価方法</b> 出席、課題、レポートにより評価する。							
<b>担当講師の実務経験</b> 学校法人慈恵大学 理事 / 慈恵メディカルサービス株式会社 東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長・事務部長・業務課長・看護部長 / 千葉県看護協会							

# 基礎看護学

## 1. 考え方

基礎看護学では、すべての健康レベルにある人々を理解し、より健康で豊かな生活を送れるよう最善な援助を行うために必要となる基本的な知識・技術・態度を学習する。

専門分野であるすべての看護学の礎となる科目群であり、基礎分野・専門基礎分野での学びを基に、看護学に関する基本となる考え方、人間・環境・健康・看護についての概念、基礎となる看護技術、看護の役割を遂行するために必要な基礎的能力、看護過程を展開し応用できる能力を育成する。

社会は時代と共に変動し、看護に期待する役割も変化している。看護職は、多職種との連携、協働の中で、人びとの心身の健康の保持増進に寄与することが求められている。そのため、人間の健康の保持増進、回復、安寧な死に向けての保健医療福祉サービスの必要性についても学ぶ。さらに、先人の看護理論とわが国の看護史の礎である慈恵看護の変遷を学び、研究的態度を身につけて、生涯にわたり看護の本質を探求しつづける力の素地を養う科目群として位置づける。

## 2. 目的

人間のライフサイクルにおける健康の意義、看護の対象としての人間、看護の概念、並びに保健・医療・福祉チームにおける看護の役割を認識し、看護の基礎となる知識・技術・態度を養う。

## 3. 目標

- 1) 人間のライフサイクルにおける健康の意義について理解できる。
- 2) 看護の対象を、身体的・精神的・社会的側面から学び、統一体として理解できる。
- 3) 看護の概念を学び、看護の役割を理解できる。
- 4) 慈恵看護史の学びを通して、看護理論の成立が理解できる。
- 5) 看護研究の意義が理解できる。
- 6) 看護実践における基礎看護技術を習得し、応用できる能力を養うことができる。

#### 4. 基礎看護学の構成



看護の理論と変遷		開講時期	3年次 通年	単位数	1	時間数	15
科目責任者		都留 万里子					
科目設定理由		看護の発展の歴史的経緯や先人の看護理論家の足跡と構築した理論の概要を理解し、看護実践を方向づけ、本質を追求する姿勢を身につけることをねらいとする。					
科目目標		1. 看護の歴史的変遷を知り、継承すべき看護の本質について考えることができる。 2. 先人の看護理論を知り、理論の理解が看護実践の質の向上につながることを学ぶ。					
回数	担当講師	学習形態	学習目標	学習内容			
1	都留 万里子 渡辺 真由 他	講義	看護理論の歴史的発展を理解し看護理論家への関心をもてる	1. 看護理論とは 2. 看護理論の構築			
2		グループワーク	主な看護理論家の概念について理解する	3. 主な看護理論家にもみる看護 1) フローレンス・ナイチンゲール 2) ヴァージニア・ヘンダーソン 3) ドロセア・E・オレム 4) シスター・カリスタ・ロイ 5) ヒルデガード・E・ペプロウ 6) ジョイス・トラベルビー 7) その他の理論家			
3							
4							
5							
6				グループワーク発表			
7	蝦名 総子	講義	慈恵における看護の変遷について理解する	4. 慈恵における看護の変遷（慈恵史） 1) フローレンス・ナイチンゲールと慈恵の看護 2) 有志共立東京病院看護婦教育所の誕生 3) 初期のころの看護実践 4) 産婆教育と保健婦教育 5) 慈恵柏看護専門学校の開校			
8							
<b>使用テキスト</b> 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学Ⅰ 看護学概論 医学書院 フローレンス・ナイチンゲール著：看護覚え書き—看護であること、看護でないこと— 現代社 金井一薫 著：ナイチンゲールの「看護覚え書」イラスト・図解でよくわかる！ 西東社 ヴァージニア・ヘンダーソン著：看護の基本となるもの 日本看護協会出版会 慈恵看護教育130年史編集委員会 編：慈恵看護教育百三十年史							
<b>参考図書／ビデオ</b> 小林富美栄 著：現代の看護の探究者たち 人と思想 日本看護協会出版会 ほか やさしく学ぶ看護理論 日総研 金井一薫 著：ナイチンゲール看護論・入門—“看護であるものとなないもの”を見分ける眼 現代社白鳳選書14 現代社 看護論シリーズ フローレンス・ナイチンゲール/科学的看護論/ヒルデガード・E・ペプロウ/ドロシア・E・オレム ビデオ・パック・ニッポン							
<b>評価方法</b> 出席、レポート提出及び内容で評価する。							
<b>担当講師の実務経験</b> 専任看護教員 ・ 前 慈恵柏看護専門学校および慈恵看護専門学校副校長							

# 看護の統合と実践

## 1. 考え方

わが国の看護をめぐる環境は、急速な少子高齢社会への進展、医療技術の進歩等大きく変化してきており、看護師にはより患者の視点に立った質の高い看護の提供が求められている。一方で、看護業務の複雑・多様化、国民の医療安全に対する意識の向上等の中で、学生の看護技術の実習範囲や機会が限定される傾向にある。また、昨今の臨床現場では、新卒看護師の看護実践能力の低下が指摘されており、新卒看護師の多くがさまざまなリアリティショックを体験するといわれている。

そこで、看護基礎教育の集大成となる統合分野において、より臨床に近づけた「場」を設定し、多職種と連携・協働して適切な保健・医療・福祉を提供する能力を身につける。さらに、対象の状況に応じて既習の知識・技術を引き出し、統合し、協働しながら看護実践する力を身につけることを期待して「看護の統合と実践」を位置づける。

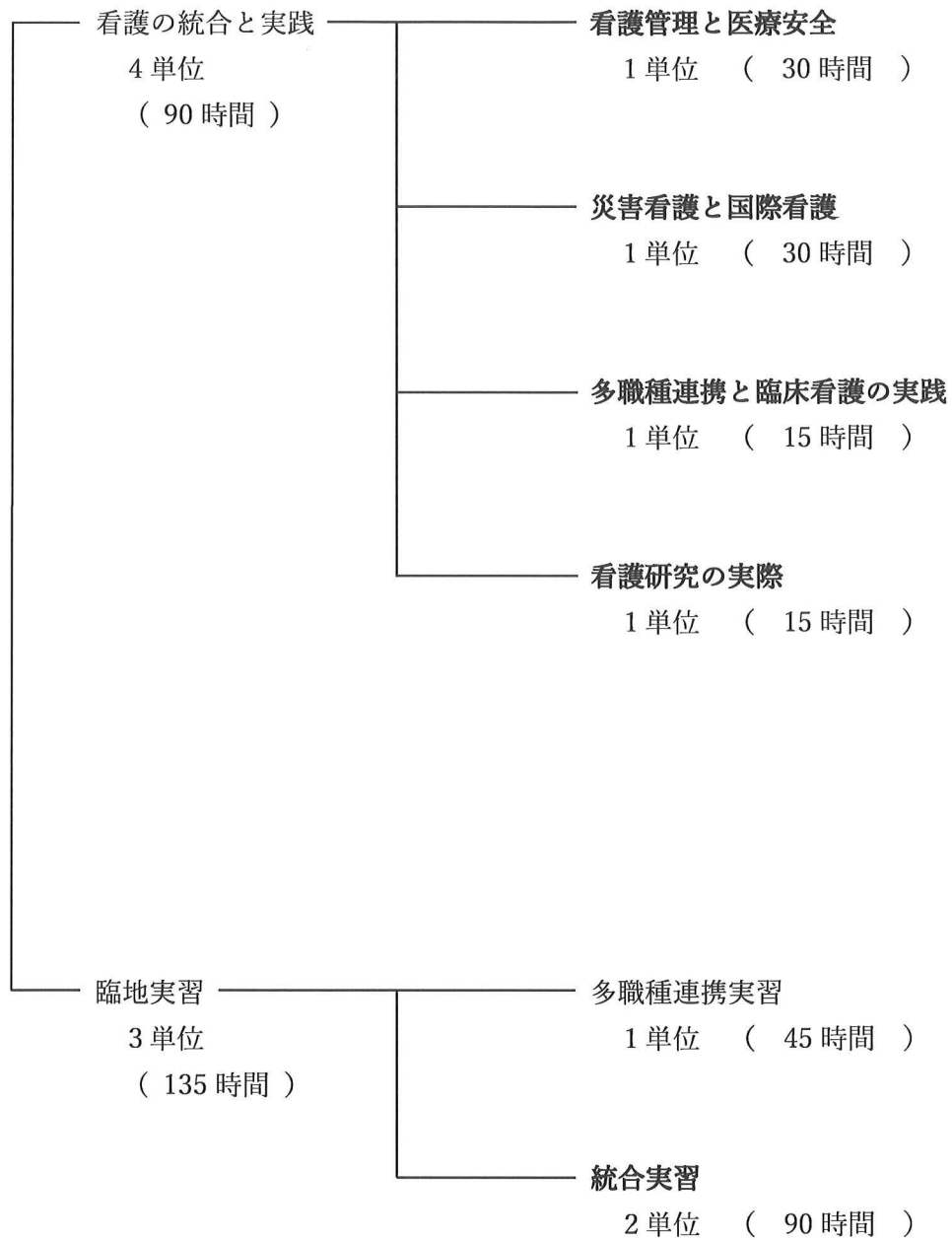
## 2. 目的

基礎分野、専門基礎分野、専門分野で学習した知識・技術を統合し、看護実践能力の向上をはかる。

## 3. 目標

- 1) 看護の対象となる人々に最も有効で良質な看護を提供するため管理について理解を深める。
- 2) 災害が人々の生命や生活に影響を及ぼすことを理解し、看護が果たす役割を理解する。
- 3) グローバルな視野で世界の健康について考え、諸外国の健康問題を理解することで、国際看護活動を理解する。
- 4) 医療安全に関する基礎的知識を学び、医療事故予防の理解が深められる。
- 5) 対象の状況に応じた看護技術を習得する。
- 6) 看護研究に取組み、看護を深く追求する態度を養う。

#### 4. 看護の統合と実践の構成



# 看護管理と医療安全

開講時期

3年次  
通年

単位数

1

時間数

30

科目責任者 永野 栄美

科目設定理由

組織とマネジメント、良質な看護ケア、サービスを実践するための看護管理の基礎的知識を理解し、自らの看護実践をマネジメントできるようになることをめざす。また、わが国の看護教育制度や看護人材の確保について知り、将来に向けたキャリア形成についての視野を広げる。さらに、医療安全の確保に必要な基礎的知識と、事故防止のための対策や技術を身につけることをねらいとする。

科目目標

1. 組織における看護職の役割を理解し、より良い看護実践のための看護管理の必要性を学ぶ。
2. 看護サービスのマネジメントの実際について理解を深める。
3. 看護職の教育制度とキャリア形成について理解する。
4. 安全な医療、看護を実践できるよう医療安全の基礎的理解を深める。
5. 医療事故の背景、発生要因を知り、事故防止や発生時の対応について理解する。

回数	担当講師	学習形態	学習目標	学習内容
1	中尾 みさ子	講義	【看護管理】 看護におけるマネジメントを理解する 看護職の教育制度とキャリア形成について理解する	1. 看護管理とは 1) 組織とマネジメント 2) マネジメントのプロセス 2. ケアのマネジメント 1) 看護におけるマネジメントの考え方 (1) 看護基準と看護手順 (2) 看護ケア提供システム (3) 他職種との協働
2		講義		3. 看護サービスのマネジメント 1) 看護サービスのマネジメントと組織 2) 人材のマネジメント 3) 物的資源のマネジメント 4) 財的資源のマネジメント 5) 看護サービスの評価
3	看護部 看護師長	講義		4. 看護サービスのマネジメントの実際 1) 看護部組織と職務 2) 看護体制 3) 看護単位の運営 (1) リーダーシップとメンバーシップ (2) 師長・主任の役割 4) ケア及びサービスのマネジメントの実際
4				
5				
6	中尾 みさ子	講義		5. 看護者のキャリア形成
7				

回数	担当講師	学習形態	学習目標	学習内容
8	永野 栄美	講義	【医療安全】 人間の行動とヒューマンエラーを理解する	1. ヒューマンエラーとは 2. 人間の特性 一人はなぜ間違いを起こすのか 3. ヒューマンエラーの発生メカニズム
9			医療安全の取り組みの歴史を学び、安全管理の考え方、必要性を理解する	1. 医療安全の取り組みの動向 1) 日本の医療安全対策の推進の背景 2) 組織の医療安全対策 2. 医療安全に関する基礎事項 1) 医療事故、医療過誤、医療紛争 2) アクシデント、インシデント、ヒヤリ・ハット 3) リスクマネジメント、セーフティマネジメント 4) チーム医療と医療安全 (TeamSTEPPS) 5) スイスチーズモデル
10			セーフティマネジメントのプロセスと実際を理解する	3. 看護事故防止の考え方 4. セーフティマネジメント 5. 危険予測スキルトレーニング
11	医療安全室 専従看護師	講義	医療事故の種類と発生要因を理解する	1. 療養上の世話に伴う医療事故 1) 転倒・転落事故防止 2) 入浴中の事故防止 3) 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因
12				2. 診療の補助業務に伴う医療事故 1) 注射業務 2) 内服与薬業務 3) チューブ管理
13	感染管理認定 看護師	講義	病院における感染対策管理の基礎知識	1. 医療施設における感染対策管理 1) 標準予防策 2) 感染経路別予防策 3) 職業感染防止 4) 病院における感染対策の実際
14	臨床工学技士	講義	医療事故につながりやすい医療機器の取り扱いがわかる	1. 医療機器に関する基礎知識 2. 医療機器の事故の現状 3. 事故防止に向けて
15	永野 栄美 他	演習		輸液ポンプの操作、シリンジポンプの操作
<b>使用テキスト</b> 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 1 看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 1 看護管理 医学書院 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 2 医療安全 医学書院 <b>参考図書・参考映像</b> セーフティマネジメントマニュアル(携帯版) 東京慈恵会医科大学附属柏病院 実習前に必ず見よう! 事例で学ぶヒヤリ・ハット vol. 1 あらゆる看護行為に潜むヒヤリ・ハット 医学映像教育センター				
<b>評価方法</b> 参加度、試験で評価する。				
<b>担当講師の実務経験</b> 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護師長/医療安全室専従看護師/臨床工学技士 / 専任看護教員				

# 災害看護と国際看護

開講時期

3年次  
通年

単位数

1

時間数

30

科目責任者

渡邊 綾子

科目設定理由

災害看護に関する基礎知識、災害が人々の生命や生活に影響を理解し、災害時、救急時に看護師としての役割を果たせるよう救命処置の技術習得をめざす。  
グローバルな視野で世界の健康について考え、看護師として将来、国際社会で活躍することのできる素地を身につけることをねらいとする。

科目目標

1. 災害が人々の生命や生活に影響を及ぼすことを理解し、看護が果たす役割を理解する。
2. 国際的な視野から健康課題や看護問題、国際看護活動について理解し、看護の国際協力の実際や日本における多文化共生と看護の役割について考える。

回数	担当講師	学習形態	学習目標	学習内容	
1	挾間しのぶ*1 富士田恭子	講義	【災害看護】 災害及び災害看護に関する基礎的知識がわかる	1. 災害・災害看護の定義と歴史 2. 災害サイクル 3. 災害の種類と被害の特徴	
2					
3			災害発生時の社会の対応やしぐみ、個人の備えがわかる	1. 災害に関連する制度 2. 情報伝達体制 3. 国際的支援の仕組み 4. 災害マネジメントと関係機関の支援体制 5. 個人の備えや災害ボランティア	
4			災害が人々の生命や生活に及ぼす影響、被災者と救助者の心のケアを学ぶ	1. 災害時の地域アセスメント 2. 災害種類別疾患の特徴 3. 災害時の被災者および援助者の心理 (心理回復プロセス・PTSR・PTSD)	
5					
6			災害時に看護が果たす役割がわかる		1. 災害看護の基本的考え方と看護の役割 2. 災害各期における看護活動、保健衛生管理 3. 災害時に必要な技術（トリアージ） 4. 避難所・仮設住宅・復興住宅での看護 5. 被災者特性に応じた看護 子どもへの看護 妊産褥婦への看護 高齢者への看護
7					
8					

回数	担当講師	学習形態	学習目標	学習内容
9	卯津羅雅彦*2 長谷川意純*2 並木宏也*2 ICLS インストラクター	演習	【ICLS演習】 救命の連鎖を理解する 一次救命処置ができる 二次救命処置の概念を理解し心肺停止やその他の心血管エマージェンシーの処置技術を身につける	1. 一次救命処置（CPRとAED） 2. 二次救命処置（ACLS）の概念 3. 心肺停止やその他の心血管エマージェンシーの処置技術
10				
11	小島穂奈*3	講義	【国際看護】 国際看護を学ぶ意義を理解する グローバルヘルスの現状と課題を理解する	1. 国際看護とは 2. グローバルヘルスとは 1) 国際看護と国際保健 2) プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション 3) 持続可能な開発目標（SDGs）
12		講義	国際機関の役割や国際保健政策を理解する	3. 国際協力のしくみ 1) 政府開発援助 2) 国際機関 3) 非政府組織
13		講義	国際看護活動について理解し、看護の国際協力の実際や日本における多文化共生と看護の役割について考える	4. 国際看護活動の実際 1) 開発途上国における国際看護の実際 2) 世界における災害と難民の現状と国際救援の看護の実際
14		講義		
15		講義		

#### 使用テキスト

系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 3 害看護学・国際看護学 医学書院  
随時、資料を配布する。

#### 参考図書

国際看護研究会編：国際看護学入門 医学書院  
南裕子監修：国際看護学 グローバルナーシングに向けての展開 中山書店

#### 評価方法

参加度、試験で評価する。

#### 担当講師の実務経験

- \*1 東京慈恵会医科大学教育センター 急性・重症患者看護専門看護師 急看護認定看護師
- \*2 東京慈恵会医科大学附属柏病院 救命救急センター医師 / ICLSインストラクター
- \*3 助産師として臨床経験を経て、国境なき医師団に助産師として登録し、世界各国に海外赴任し、開発途上国の健康問題や難民の国際救援に助産師として携わっている。
- \*4 当該分野の博士課程を経て、JICA青年海外協力隊員としてホンジュラスに海外赴任、特定非営利活動法人にて在日外国人支援に従事する等の多くの国際看護の経験を有する。

# 多職種連携と臨床看護の実践

開講時期	3年次 通年	単位数	1	時間数	15
------	-----------	-----	---	-----	----

科目責任者	小幡 慶子
-------	-------

科目設定理由	「チーム医療」を実現するためには、それぞれの専門性を担う多職種が連携・協働し、対象を中心にした総合的支援をすることが必要である。連携の一翼を担う看護人材になるために、多職種の専門性の理解と職務の関連性や連携のあり方を学ぶ。また、これまでの既習学習をもとに、より臨床場面に近づけて協働して看護実践を行う力を身につけることをねらいとする。
--------	---

科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多職種連携の必要性と連携のための基礎知識を理解する。</li> <li>2. 多職種連携を高めるための技術がわかる。</li> <li>3. それぞれの部署や状況における多職種連携について考えることができ、チームの一員として看護職が果たすべき役割がわかる。</li> <li>4. 複数の対象の状況に応じた安全・安楽な看護の選択、実践について考えられる。</li> <li>5. 臨床場面を想定し、看護チームで協働しながら看護実践する力を身につける。</li> </ol>
------	--

回数	担当講師	学習形態	学習目標	学習内容
1	小幡 慶子 森元 洋子	講義 グループ ワーク	【多職種連携】 多職種連携の必要性と連携のための基礎知識を理解する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. なぜ多職種連携が必要なのか</li> <li>2. それぞれの医療者の役割</li> <li>3. 多職種連携の基礎知識                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) チームマネジメントと関連用語</li> <li>2) チームの類型（モデル）など</li> </ol> </li> <li>4. 多職種連携力を高める技術                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 連携づくりの場としてのカンファレンス</li> <li>2) コンフリクトマネジメント</li> </ol> </li> <li>5. それぞれの部署や状況における多職種連携                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病棟における連携</li> <li>2) 病院と地域における連携</li> </ol> </li> <li>6. チーム医療を成功させる 10 か条</li> </ol>
2			多職種連携を高めるための技術がわかる	
3			多職種連携チームの一員として自らの役割を果たす必要性がわかる	
4	都留万里子 中山 千子 高橋 真喜 藤川 和恵	グループ ワーク 演習	【臨床看護の実践】 1. 複数事例の看護の優先度や安全に配慮した看護計画が立案できる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複数事例の援助についてのグループ討議                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 複数事例の看護内容・方法・優先度の検討</li> <li>2) 複数事例の援助の優先度・方法の決定</li> <li>3) 実施上の留意点を挙げ、グループで共有・患者の安全性の配慮・メンバー間の協力、調整など</li> <li>4) 役割決定</li> </ol> </li> <li>2. 臨床看護の実践                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) それぞれの役割の把握</li> <li>2) 打ち合わせと実践</li> </ol> </li> <li>3. 視点にもとづいた実施内容の振り返り                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) それぞれの立場ごとに援助計画、実施内容の振り返り</li> <li>2) グループごとに振り返り内容のまとめ</li> <li>3) まとめた内容の発表および学びの共有</li> </ol> </li> <li>4. 討議から発表に至る学びから、自己の課題の明確化</li> </ol>
5			2. 援助計画に沿い、流動する事象に対処しながら必要な援助が実施できる	
6			3. 援助の振り返り、安全への配慮、対処行動、実施した看護技術等について検討することができる	
7			4. 自己の課題を見いだす	
8				

**使用テキスト**  
随時、資料を配布する。

**参考図書**  
 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 1 看護学概論 医学書院  
 田村由美：新しいチーム医療 改訂版—看護とインタープロフェッショナル・ワーク入門 看護の科学社  
 川島みどり：増補版チーム医療と看護—専門性と主体性への問い— 看護の科学社  
 福原麻希：チーム医療を成功させる 10 か条—現場に学ぶチームメンバーの心得— 中山書店

**評価方法**  
参加度、レポート提出及び内容で評価する。

**担当講師の実務経験**  
専任看護教員

# 看護研究の実際

開講時期

3年次  
前期

単位数

1

時間数

15

科目責任者 中尾 みさ子

科目設定理由

自己の行った看護を明らかにし、広く深く具体的に理解して記述することを通して、質の高い看護を探求する力を養う。ケーススタディの実際を通して研究的態度を養うことをねらいとする。

科目目標

1. 看護研究のプロセスを理解し、ケーススタディが実施できる。
2. 自分の実施した看護を明らかにし、文献を活用して振り返ることができる。
3. 他者の研究成果を共有し、多様な看護実践を学ぶ。

回数	担当講師	学習形態	学習目標	学習内容
1	中尾 みさ子	講義	看護研究におけるケーススタディの位置づけがわかる ケーススタディの目的・進め方が理解できる	1. ケーススタディとは 2. ケーススタディの意義 3. ケーススタディの対象・種類 4. ケーススタディのための倫理的配慮
2		講義	研究計画の必要性と方法が理解できる ケーススタディの実施、まとめ方と発表の方法が理解できる	5. 研究計画書の書き方 6. ケーススタディのまとめ方 7. ケーススタディのすすめ方
3	看護教員	グループワーク	研究計画に基づき計画的にケーススタディを進める	8. ケーススタディの実際 ・研究計画の確認と修正 ・参考文献の選択 ・ケーススタディの内容の確認と修正 ・参考文献の活用 ・進行状況に応じた今後の計画の修正
4		グループワーク		
5		個別学習	ケーススタディが実施できる	
6				
7				
8		発表	ケーススタディが発表できる 他者の発表を聞き、多様な看護実践を学ぶ	

## 参考図書

李節子：看護研究こころえ帳 第3版 研究の基本からプレゼンテーションまで 医歯薬出版

## 評価方法

ケーススタディの実際のプロセス、出席、提出物の内容、発表により評価する。

## 担当講師の実務経験

専任看護教員